

# 使用するツールのインストール

## 本講座で利用するツール

本講座で利用するツールは以下です。

- Visual Studio Code
- Visual Studio Code 拡張機能 5 種類

導入をされていない方は以下の手順に従い、導入をお願いします。

## 本講座で利用するツール導入に関して

本講座では、開発用のツールとして Visual Studio Code を想定しています。

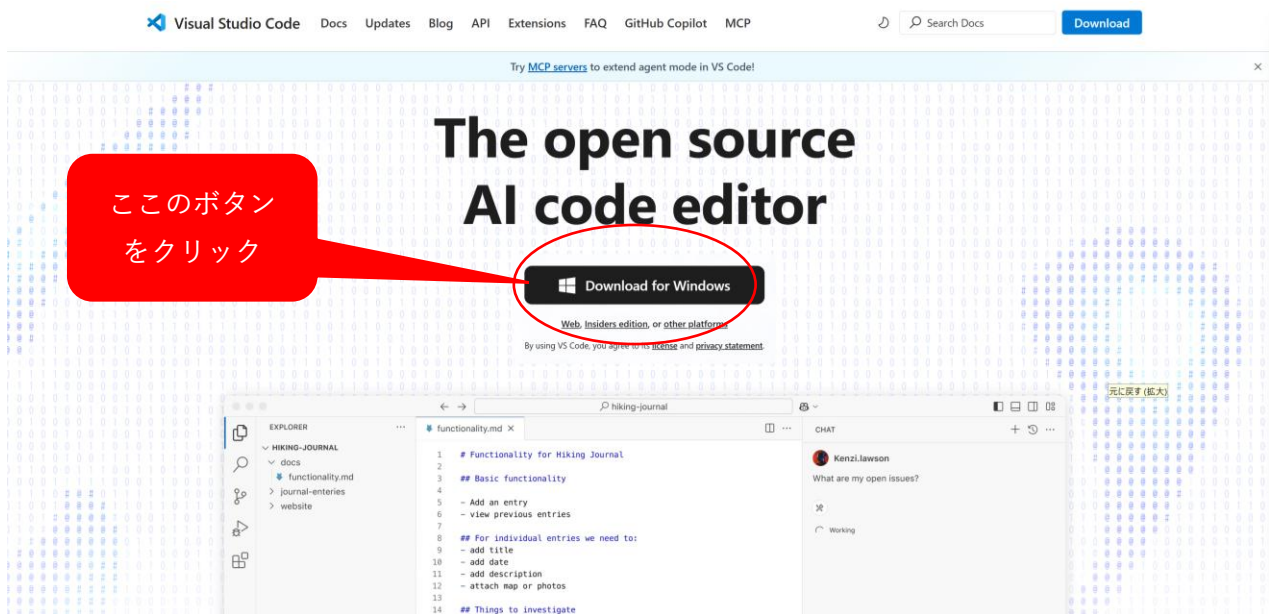
Visual Studio Code をインストールされていない場合は以下の手順に従い、お使いの PC にインストールを行ってください。また、Visual Studio Code は拡張機能を入れることによって、使い勝手や機能の向上を図ることができるようになっています。本講座でも拡張機能で提供されている機能を利用するため、いくつかの拡張機能のインストールもお願いします。

なお、本講座で利用するツールは、全て無料で利用できます。

## 1. Visual Studio Code のインストール

### 1-1. Visual Studio Code のダウンロード

[Visual Studio Code - Code Editing. Redefined \(https://code.visualstudio.com/\)](https://code.visualstudio.com/)  
にアクセスします。



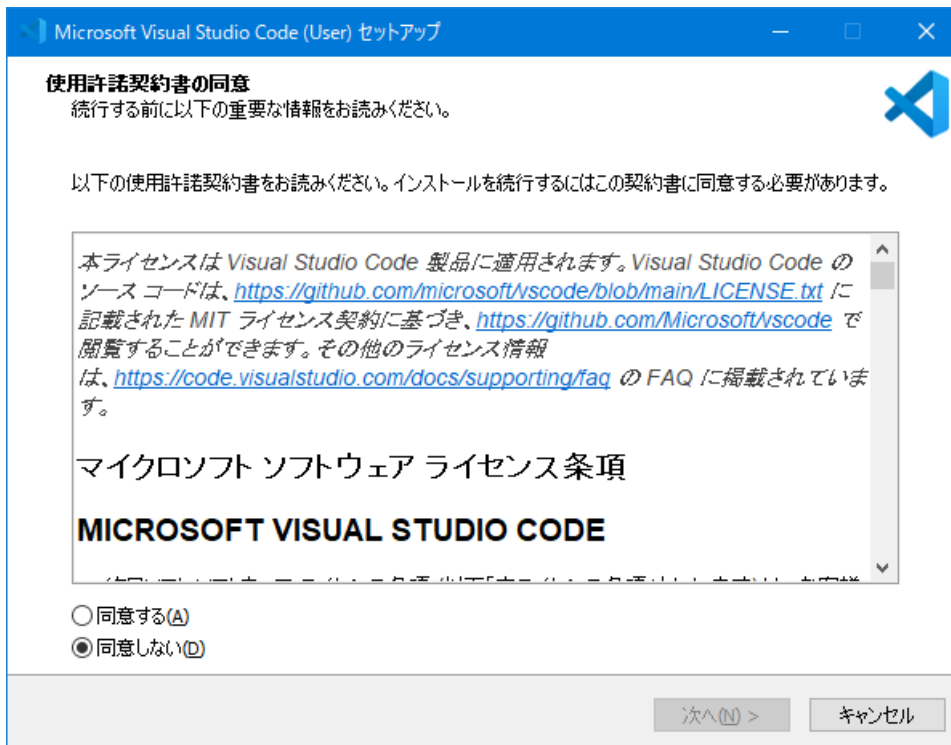
利用している OS に応じてダウンロードすべきボタンが変化しますが、もし自動的に変化するボタンがお使いの OS と異なる場合はプルダウンから切り替えてください。

バージョンは最新版を利用してください。

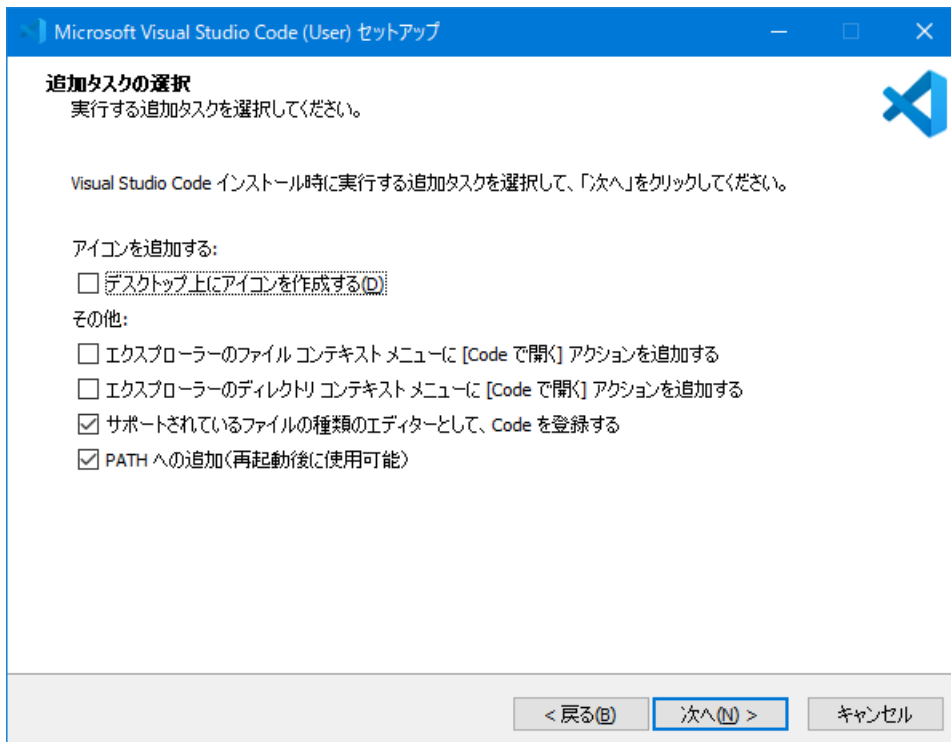
インストール方法は Windows 環境と mac 環境で異なります。お使いの環境に合わせた方を確認してください。

## 1-2. ダウンロード完了後のインストール（Windows 環境）

ブラウザーでダウンロードが終わったらダウンロードされたファイルをダブルクリックしてインストールを行います。

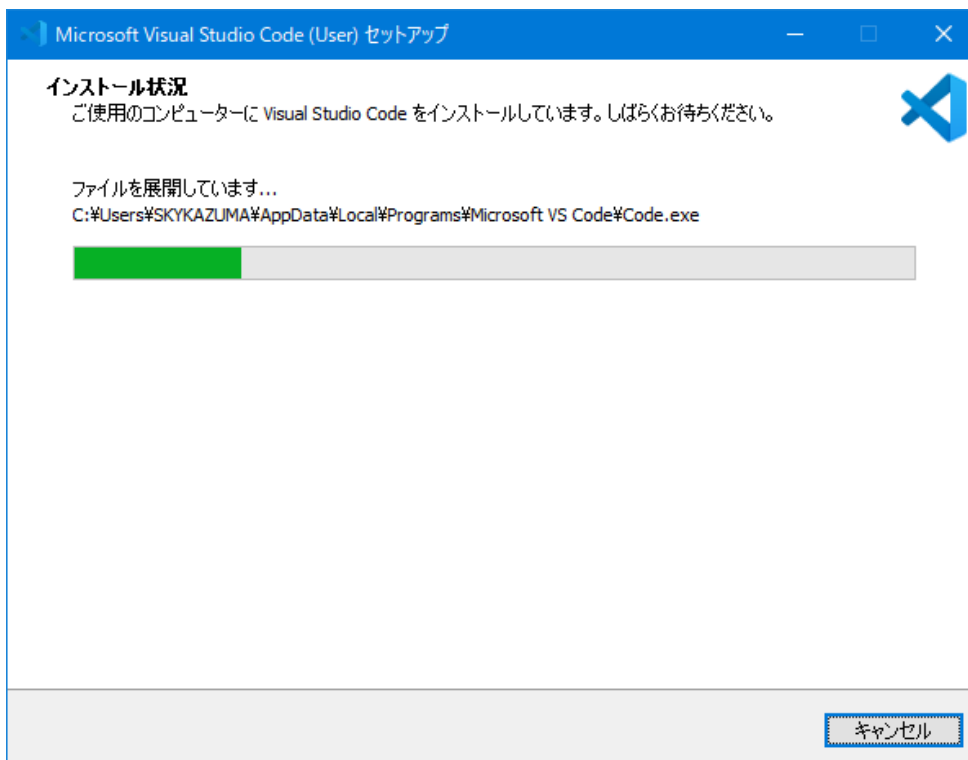


ライセンスへの同意が必要なため、読んだ上で「同意する」にチェックを入れて「次へ」

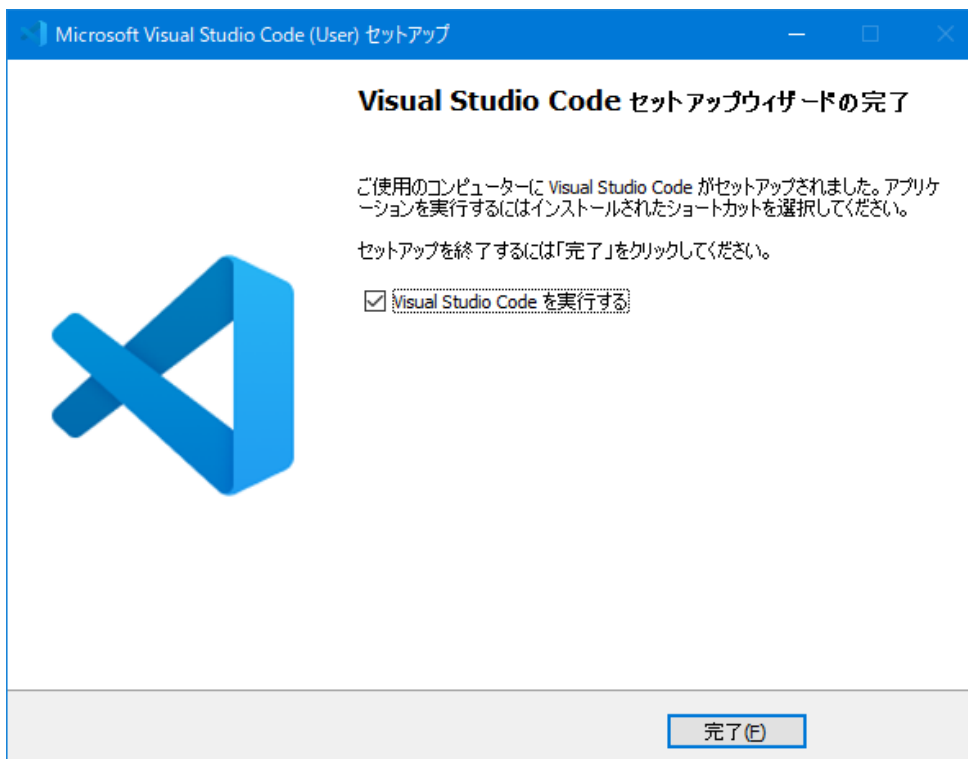


途中で「追加タスクの選択」が表示されます。

デフォルトのままで問題ありませんが、必要に応じてチェックを付ける、外すなどしてください。



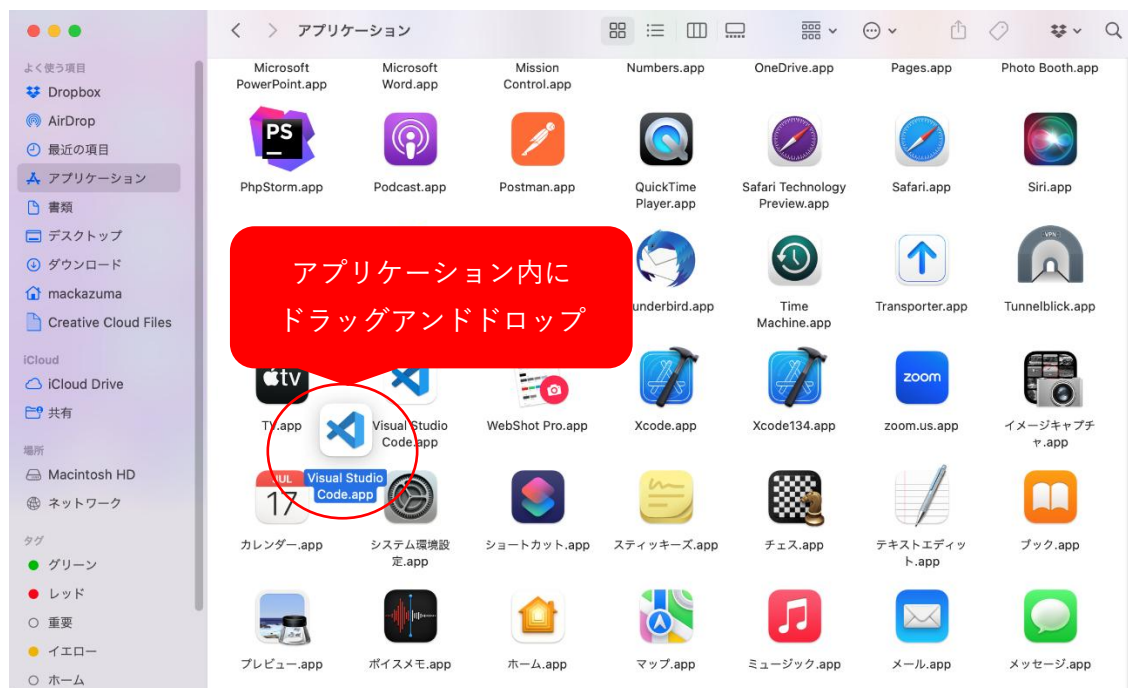
後は通常通りインストールが進みます。



インストールが完了したら、この画面が表示されます。

「Visual Studio Code を実行する」にチェックが入っていますが、そのままチェックを入れておいて「完了」を押せば、Visual Studio Code が起動します。

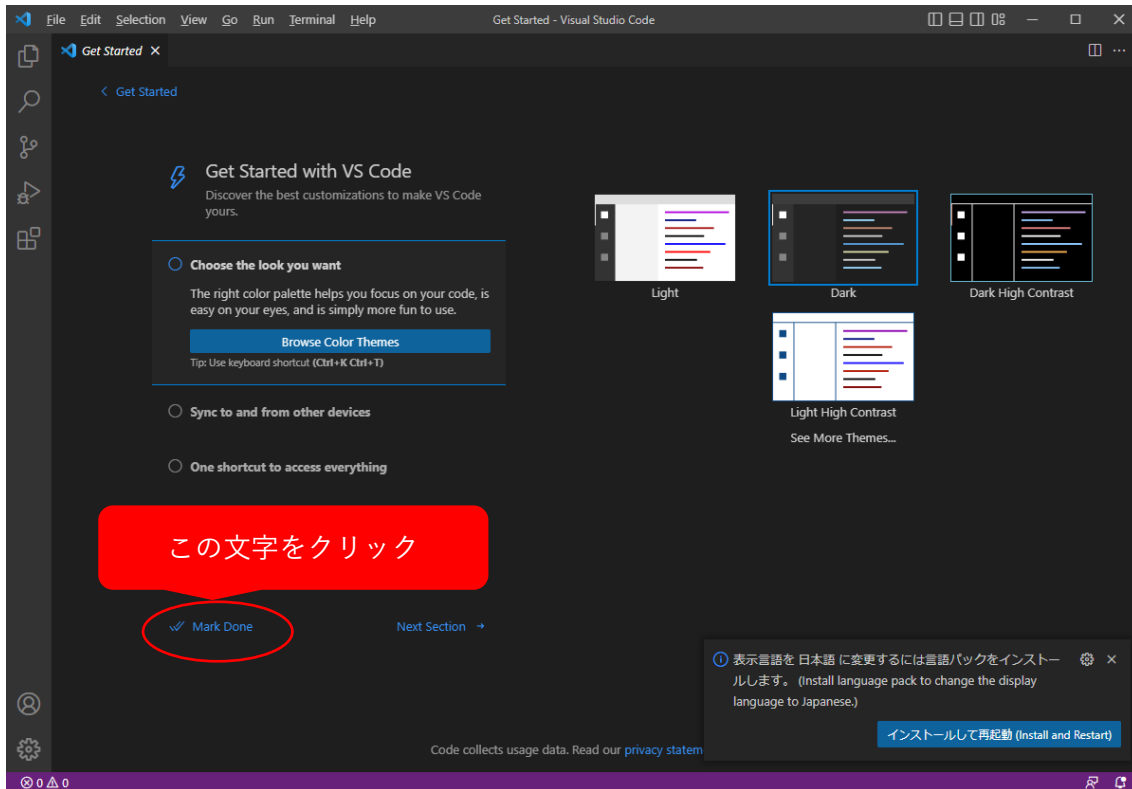
## 1-2. ダウンロード完了後のインストール（mac 環境）



「ダウンロード」フォルダーに「Visual Studio Code」が展開されていたら、「Finder」→「アプリケーション」も表示し、その中にドラッグアンドドロップします。ファイルがコピーされたらインストール完了です。「Visual Studio Code」をダブルクリックして起動します。

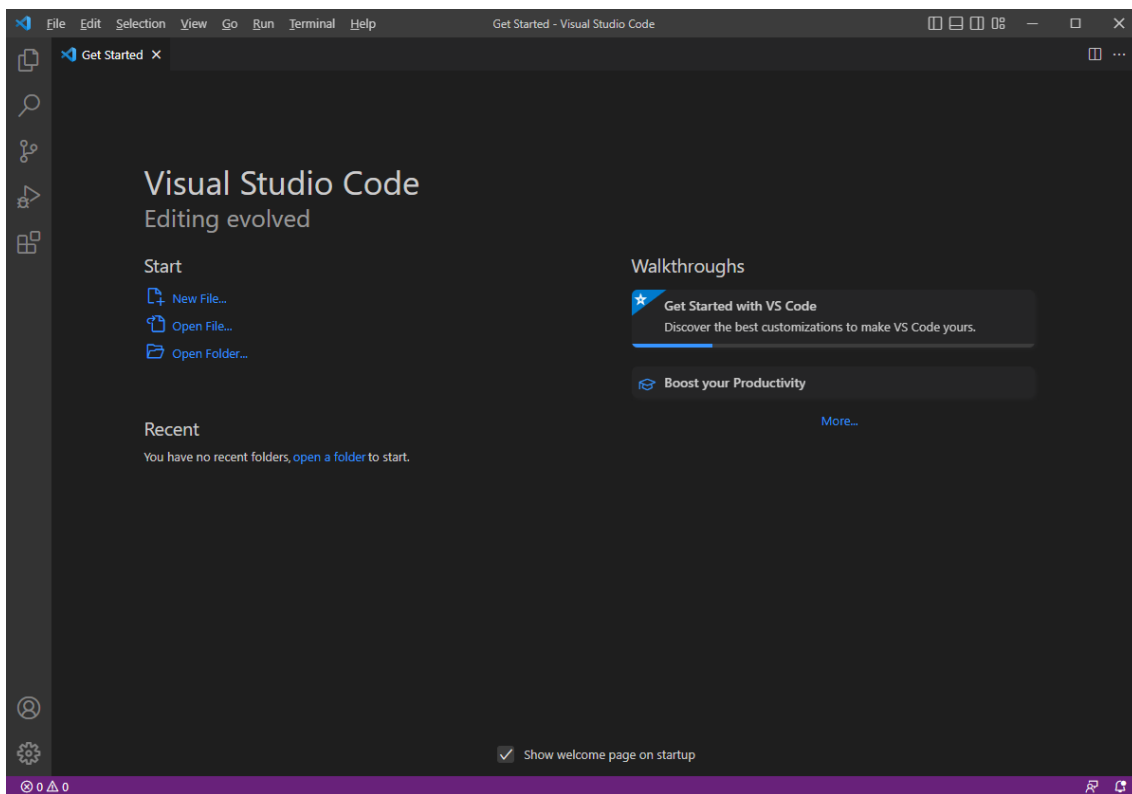
## 1-3. Visual Studio Code 自体の設定

起動直後の画面では設定を行います。画面の表示スタイルの選択をします。



デフォルトでは Dark が選択されていますが、見やすいものを選択すると良いでしょう。また、標準で搭載されている見た目以外にも拡張機能で見た目はさまざま提供されているため、自分にあっているものを探して利用しても良いでしょう。

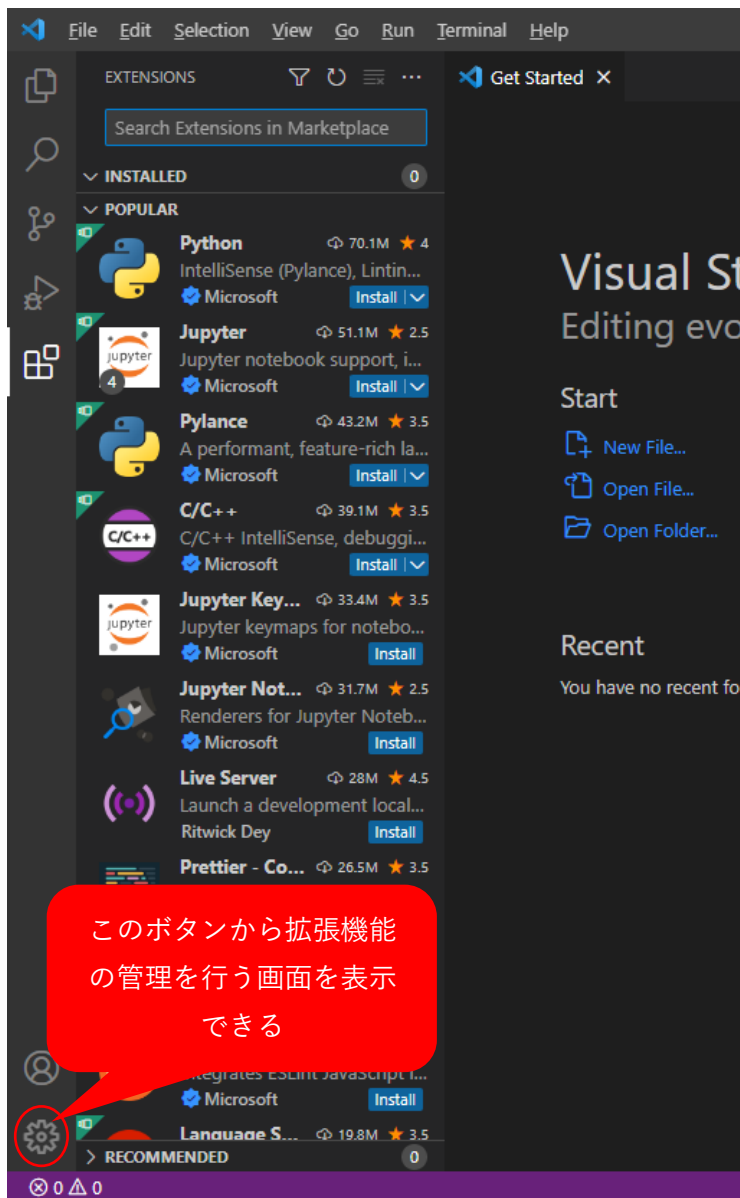
後はデフォルト設定のまま利用することにします。「Mark Done」という文字をクリックします。必要に応じて後から設定変更は可能です。フォントを変えたり、文字サイズを変えたり自分の使いやすいように設定は変えてみてください。(日本語化したあと)「ファイル」→「ユーザー設定」→「設定」(macの場合「Code」→「基本設定」)から変更できます。



この画面が表示されれば設定は完了しています。

## 1-4. 日本語化と拡張機能のインストール

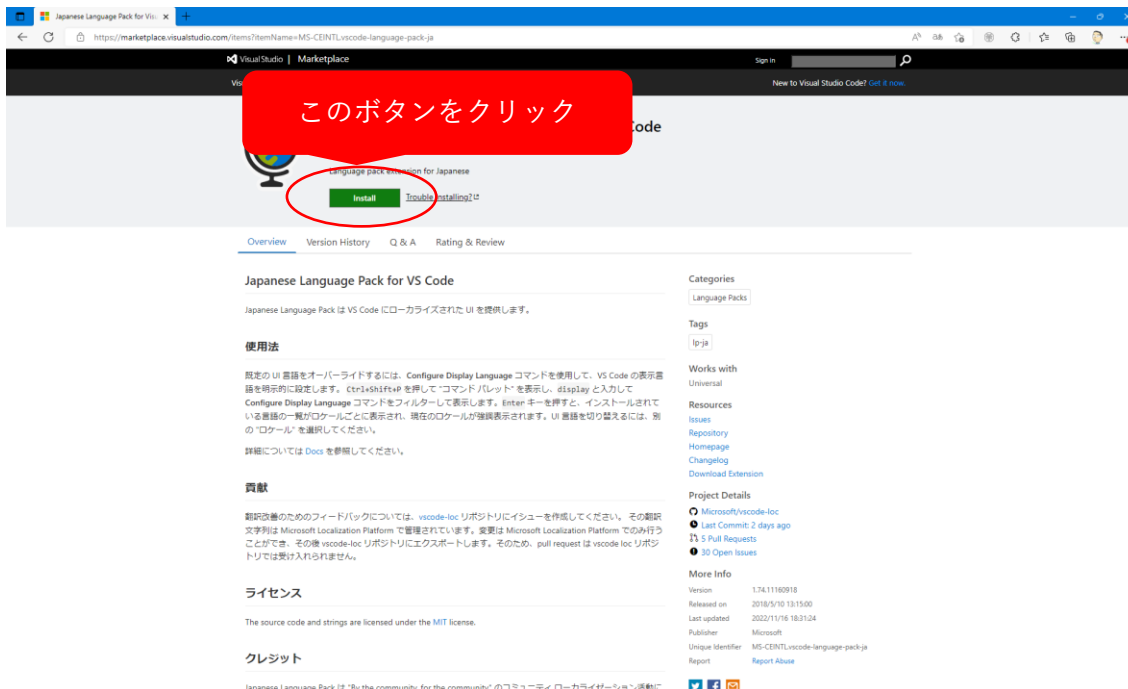
まだこの段階では英語表記のままになっています。このままでももちろん通常通り利用できますが、日本語の方が使いやすい場面も多いでしょう。日本語の言語拡張機能を入れることで、日本語化することができます。拡張機能は画面左下にあるボタンから管理をしますが、今回はブラウザー経由で拡張機能をインストールします。



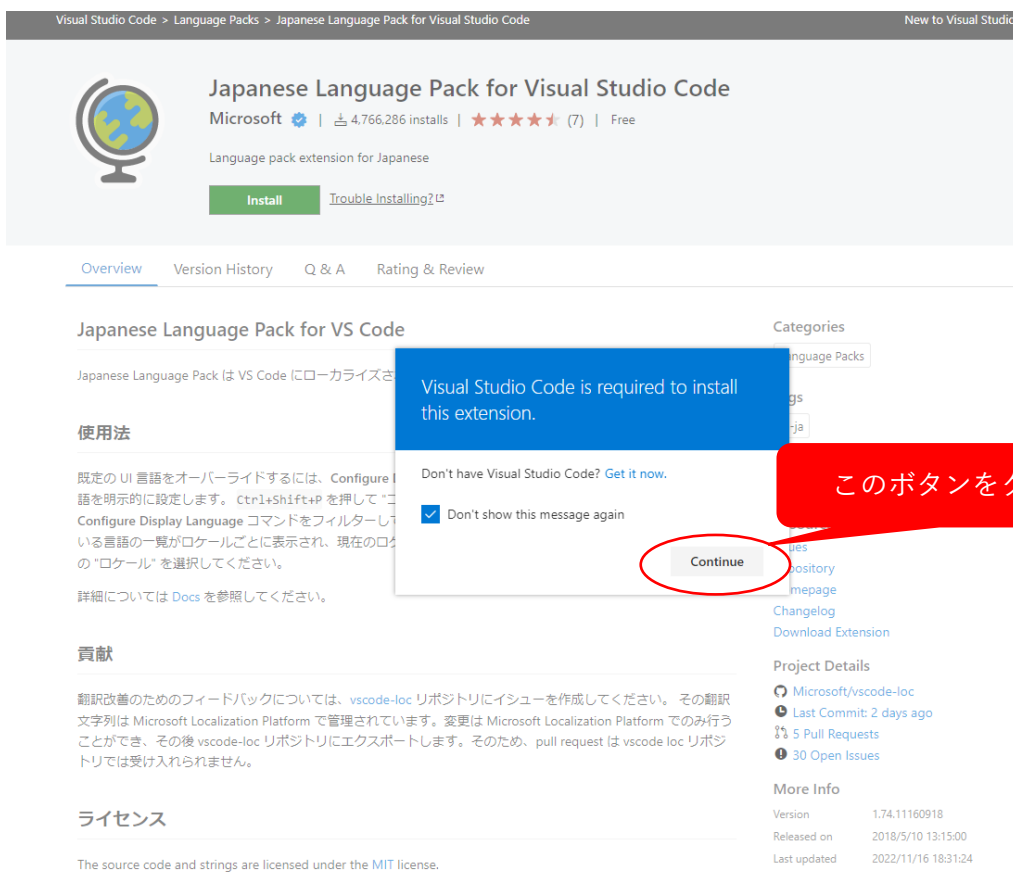
ブラウザーで以下の URL を開きます。

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=MS-CEINTL.vscode-language-pack-ja>





Japanese Language Pack for Visual Studio Code という拡張機能について説明されているページが表示されます。この画面から拡張機能のインストールが可能です。  
上部にある、「Install」ボタンを押します。



インストールしても良いか尋ねるダイアログが表示されるので、「Continue」をクリックします。



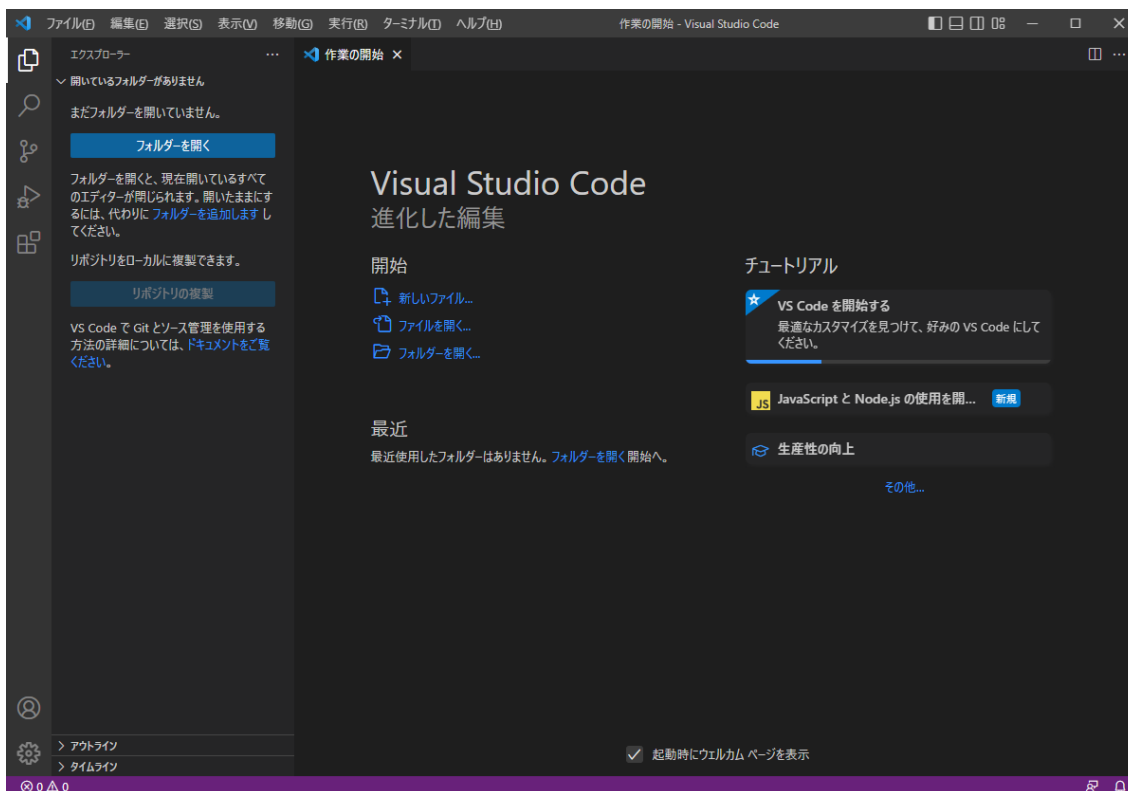
ブラウザから Visual Studio Code を起動して良いか尋ねるアラートが出るので、「開く」（Safari など mac 環境では「許可」）を選択すると、



Visual Studio Code の画面が開いて、拡張機能のインストールが始まります。



インストールが終わると、サイドメニューの「INSTALLED」に追加されます。また、画面では「Uninstall」ボタンが表示されます。拡張機能はアンインストールも比較的容易です。（日本語化済みだと）「インストール済み」にインストールされた拡張機能が一覧で表示されます。クリックすると右側画面にその詳細が表示され、上部に（日本語化済みだと）「アンインストール」ボタンがあるので、それをクリックすればアンインストールされます。



日本語化拡張機能は Visual Studio Code を再起動しないと反映されないタイプの拡張機能です。拡張機能によっては、インストールすれば直ぐ使えるものと再起動しないと使えないものがあります。画面上に表示されるので、指示に従い再起動すると、日本語化された画面が表示されます。

後は同様の方法で、拡張機能をインストールしていきます。特に順番は関係無いので、飛ばしてしまっ

でも後からインストールすれば問題ありません。

IntelliCode

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=VisualStudioExptTeam.vscodeintellicode>

htmx-tags

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=otovo-oss.htmx-tags>

LiveServer

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ritwickdey.LiveServer>

Path Intellisense

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=christian-kohler.path-intellisense>

Emmet Live

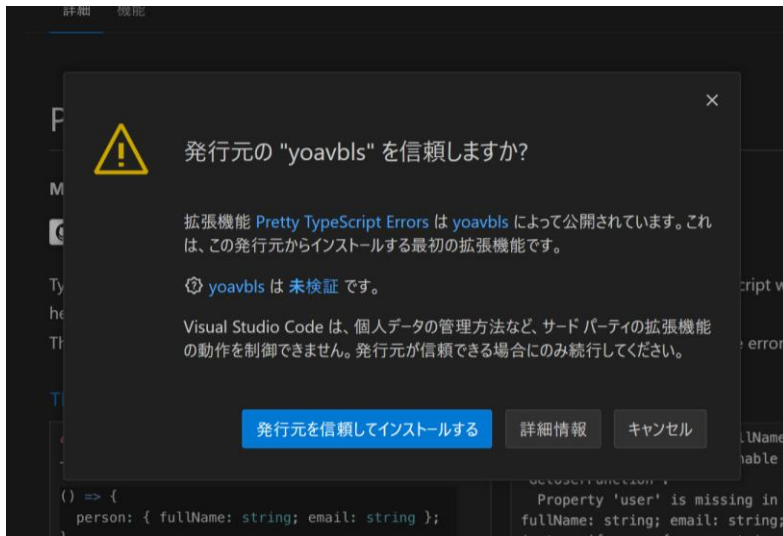
<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ysemeniuk.emmet-live>

ブラウザーからインストールする以外にも拡張機能パネルの上部にインストールしたい拡張機能名を記述して検索すれば下部に表示され、インストールを行うことができます。

また、(日本語化済みでは)「推奨」には、オススメの拡張機能が表示されますが、本講座では使用しません。

インストール時に以下のような画面が出ることがあります。

現時点では上記には問題の無い URL を掲載していますが、インストールされる際は自己責任で承認をするようにしてください。(近年、拡張機能の振りをして、ウィルス的な動きをする拡張機能というのが多数見つかっています)



Visual Studio Code はアップデートが盛んなソフトウェアで、ほぼ毎月アップデートが行われています。拡張機能も時折アップデートされます。通常は起動時に自動的にアップデートされますが、手動でアップデートしたい場合は、「ヘルプ」(mac では「Code」) から更新できます。